

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 RI会長
K. R. ラビンドラン 氏

例会予定 2月17日 会員卓話
2月24日 会員卓話

VOL. 53 No. 26(通算No. 2467)

2016年 2月10日(水) 例会プログラム
点 鐘
ロータリーソング・四つのテスト
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸報告
幹事報告
会長挨拶
会員卓話 荒井孝典会員



クラブ創立当初のバナーは、ロータリーのマークに「水」の字をあしらったものでしたが、創立10周年当時、バナーを変えたいという意見が出て、研究検討の結果出来たものが現在のものです。鬼怒川と小貝川にはさまれた水海道は、昔から水路を利用して、江戸に通じる要地として繁栄し、川との関わり合いの深い所です。

鯰は「如拙」の「瓢箪鯰」にあるよう、また幸を招く魚として、川魚の代表的な魚です。この「鯰」と「川」が当地の特色をもっとも的確に表すだろうと云うことで、東京女子美術学校講師であった増淵淳子先生が両川の清流に黄金の鯰を配して図案化したものです。

2015-2016年度 会 長 海老原良夫 幹 事 松崎隆詞

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30～13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



2月は平和と紛争予防／紛争解決月間

例会報告 VOL. 53 No25(No. 2466) 1月27日(水)晴れ (司会 石井康弘委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎外部卓話 (公)茨城県中小企業振興公社
サブコーディネーター 福永一哉様

ビジター

(公)茨城県中小企業振興公社 サブコーディネーター 福永一哉様

諸報告

プログラム委員会 石井康弘委員長

2月3日(水)の例会は、移動例会となります。

時間:午後5時30分 点鐘

場所:ふじ吉

バス:午後5時 白井石油さん前

幹事報告 松崎隆詞幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

2月3日(水)移動例会にて報告 理事会報告

1. 新会員推薦について・・・前島氏 異議のある方は7日以内に文書で幹事までお願いします。

会長挨拶 海老原良夫会長 2016.1.27「故人を偲ぶ」



この数日間、沖縄本島では観測史上初の雪を記録したという、歴史的な寒波に列島がふるえました。

昨日は「寒梅忌」、藤沢周平の命日につけられた呼び名で、寒さに向かってきりと咲く花を、作家藤沢周平さんの作風や人柄に重ねています。

冬がきわまる季節に一輪、二輪と開く紅白には、どこか人を励ます潔さと温かみがあり、藤沢作品の文章世界にも通じる美質でもあり、寒さをくぐるごとに春は近づくと、教えてくれます。

故人を偲ぶ寒梅忌が昨日は各地で行われましたが、今日は水海道 RC クラブの故人を偲んで、彼の遺した短い文章をご紹介します。

彼はいつもこの例会場の、あのあたりに座っておりました。寡黙な人でしたが、実は健筆家でした。その一端を偲んでみましょう。

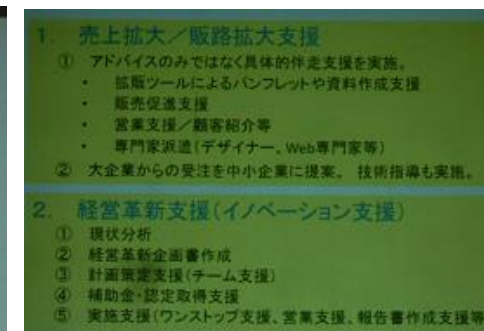
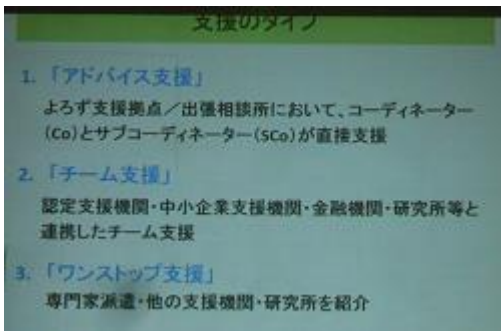
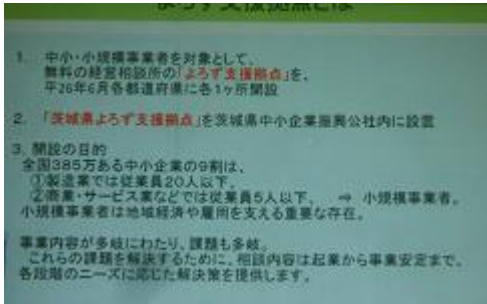
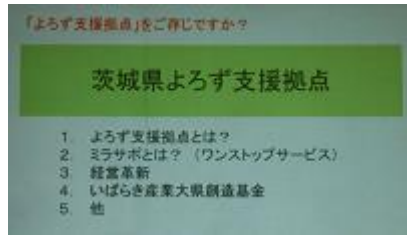
『春は天満宮を始め市内の各神社の節分祭から始まる。以前は各家庭から豆まきの声が聞こえたが今ではほとんど無くなってしまった。我が家では今も二月初午の日に新年の商売繁盛と家族の健康を祈願し神主に御祓いをしてもらっている。立春から一ヶ月、寒さの谷がやってくる。以前は大雪にも度々見舞われ竹馬で雪と遊んだ思い出がある。四月になると八間堀川の兩岸の桜が見事に咲き誇った。桜の名所として市民の憩いの場であった。……中略……江戸、明治、大正、昭和そして平成これから五十年、百年後この常総水海道地域はいかなる街と変わるのか？次世代を担う子どもたちに大いに飛躍あらんことを期待したい』……

私の竹馬の友、元水海道 RC 会員故荒井茂雄さんの遺した文章でした。私はこの短文を三年前自費出版した『常総の隠れた英雄・鈴木頂行とその時代』の第四章「記憶」の第三節「宝町今昔」として掲載しました。この文章には、水海道の季節の行事と風物詩が描かれた、次代に語り継ぐに足る値打ちがある、と考えたからです。

2月は平和と紛争予防／紛争解決月間

外部卓話 茨城県よろず支援拠点

(公)茨城県中小企業振興公社 サブコーディネーター 福永一哉様



支援の手法 詳細 2

3. 事業再生

- ① 事業再生のイメージ作り
- ② 経営改善計画策定支援(チーム支援)
- ③ バンクミーティング支援(チーム支援)
- ④ 実務支援(モニタリング支援、環境変化対応)

⑤ 全てのプロセスを通じて、インバング・保証協会・再生支援協議会等と連携を図る。

4. 創業

- ① 創業相談(窓口、創業スクール)
- ② 創業計画作成支援
- ③ 資金調達支援
- ④ スタートアップ支援(チーム支援)
 - ・ 店舗／工場建設計画作り
 - ・ 営業支援
 - ・ 採用・教育支援

支援の手法 詳細 3

5. 経営改善支援

- ① 人事関係
- ② 生産関係
- ③ 販売関係
- ④ 財務関係

6. 事業承継支援

- ① 経営資産承継(ワンストップ)
 - ・ 税務支援
 - ・ 経営権の承継
- ② 経営ノウハウ承継
 - ・ 経営革新
 - ・ 後継者育成

支援の手法 詳細 4

7. IT化支援

- ① 事業所・工場のIT化
 - ・ LAN等のインフラ整備支援
 - ・ 生産管理、財務会計、顧客管理システム導入支援
- ② ネット情報発信支援
- ③ ネット販売支援

8. その他の支援

- ① 商店街支援
 - ・ 商店街活性化団体へのアドバイス
 - ・ 個店の経営アドバイス
 - ・ 特産品等開発支援
- ② 直接金融支援
 - ・ 少人数私募債発行支援
 - ・ 東証プロマーケット上場支援

茨城よろず支援拠点の支援の特徴

1. 専門性の高い支援
 - 経験豊富なプロコンが相談対応(分野ごとに十分な知識・経験・能力を有する人材を配置)
 - 公社内の相談支援、海外支援、と連携
2. 効率的な運営
 - Co-Sooが直接相談を受け、独自に支援を決定
 - 県内各地での出張相談会
 - 月1回の定例会議のみ
3. 相談者に寄り添ったスピーディーな支援
 - 土日・休日・夜間も出勤
 - 相談者がCo-Sooへ直接連絡
 - 早期に支援開始(夜間支援、遠隔地Skype相談)

支援(相談)のポイント

1. 相談の目的を明確にする
 - 経営課題の特定、経営改善計画の策定、経営改善の実施、経営改善の評価、経営改善のフォローアップ
2. 相談の目的を明確にする
 - 経営課題の特定、経営改善計画の策定、経営改善の実施、経営改善の評価、経営改善のフォローアップ
3. 相談の目的を明確にする
 - 経営課題の特定、経営改善計画の策定、経営改善の実施、経営改善の評価、経営改善のフォローアップ

三ツツボ

目標：100万人の事業者と1万人の専門家・支援機関が参加するビジネスネットワーク

- ① ミニ: 全国100万人の事業者・1万人の専門家・支援機関が参加するビジネスネットワーク
- ② ラ: 100万人の事業者・1万人の専門家・支援機関が参加するビジネスネットワーク
- ③ サ: 100万人の事業者・1万人の専門家・支援機関が参加するビジネスネットワーク
- ④ ボ: 100万人の事業者・1万人の専門家・支援機関が参加するビジネスネットワーク

2月は平和と紛争予防／紛争解決月間

ワンストップ総合支援

よろず支援プラットフォーム(地域行)が様々な中小企業、小規模事業者の課題に応じた専門家を選定、マッチングし、原則年三回まで無料で派遣する

① 求めている専門的知見を相談
② 専門家を選定
③ 様々な事業者を訪問して訪問

● 経費が
国・自治体、商工会連合や金融機関等地域の支援機関が地域の中小企業支援の目的に達する

「経営革新」とは、

『中小企業新事業創造促進法』と呼ばれる法律により、行先的に下記のような「新事業創造」を計画を予定している会社を支援するものです。

具体的には

1. 新商品の開発または生産
2. 新設備(サービス)の開発または導入
設備が更新を要して日増しに古いサービス開拓
3. 販路の開拓または新たな販路の開拓
4. 投資(サービス)の新たな提供の方法の導入その他の新たな事業活動

	付加価値額伸び率		付加価値 3%達成	経営利益
	会社全体	1人当たり		
承認企業	4.60%	9.80%	47.50%	5.00%
一般中小企業	-0.20%	-1.00%	18.90%	3.80%
差異	4.80%	10.80%	28.60%	1.20%

- ### 経営革新 9つのメリット
1. 様々な支援措置を受けられる。(行政補助、保証付融資、補助金申請権利入手、等々)
 2. 公的機関とのパイプができて、有意な中小企業と連携が早くなる。
 3. 事業の現状や課題を見極めることができます。(課題の見える化)
3ヵ年の中長期計画を立案、経営目標の明確化、
マーケット分析で、金銭的価値、自社の強みや弱みが目に見える。
 4. 経営者の経営力向上させることができます。(見える化)
経営者自身が計画を策定し、実行し、実行が社員に浸透、モチベーションアップ。
 5. 銀行の融資アップをさせることができます。(「自信が明確となり、業績改善」)
経営革新計画の有効で、売上高で13.4%、営業利益で40%の差。
 6. 銀行の融資アップなど会社の信用向上が図れます。
① 格付けアップで、融資が降りやすくなる。
② 社会的信用向上で、様々な取引がスムーズになる。
 7. 内情に対する説明資料となります。
ビジネスプラン等を添削提示して、事業への理解や協力体制構築。
 8. 経営計画のブラッシュアップが図れます。
作成、事業の進捗で、第三者的な意見を把握、計画の更なる充実を図れる。
 9. イノベーションを起こせます。

経営革新活用度が低か？

そもそも経営革新支援事業の知名度が低い。
・経営革新制度の存在自体が知られていないこと
・支援内容のメリットが見えにくいこと
・支援を受けるための手続きが煩雑で面倒なこと
・支援内容に理解が難しく、とっつきにくいこと
・経営革新計画の策定を支援する専門家が不足していること

原因

経営革新計画の策定は、義務化されていない
重要性を十分に認識できていない
経営革新は重要

企業経営にとって重要 →
変化を促す外部環境に起因し、競争優位のイノベーションを起こすこと
イノベーションを促進する経営革新計画の制度を利用し
市場競争力を維持・向上させていくためには必須の制度である

「経営革新の承認を受けられれば融資してもらえると」か
「計画が承認されれば補助金がもらえる」と勘違いしている企業が多い
経営革新計画を通してイノベーションを起こすことこそ、本質的に重要

地域資源活用事業とは、

・地域に特徴的なものとして認識されている地域産業資源を活用して、中小企業者が商品の開発・生産、役務の提供、需要の開拓等の事業を行うことを行います。

・各都道府県が指定する以下のものをいいます。
(1)特産物として認識されている農林水産物、加工工業製品
(2)地域の特産物である加工工業製品の生産に係る技術
(3)文化財、風景地、温泉等観光資源として認識されているもの

補助金：ふるさと名物の振興事業
中小企業・小規模事業者が、地域資源活用や農工商連携により行う商品・サービスの開発などにかかる経費の一部を補助します。
補助金限度額500万円、補助率2/3以内

融資、信用保証、その他



いばらき産業大創造成基金

・いばらき地域資源活用プログラム
農林水産物、産地技術、観光資源等の地域資源活用の新しい取組
① 試作品開発、安価な商品開発の支援
助成額：最大1,500万円、②100万円(助成率2/3以内)

・いばらきものづくり応援プログラム
① 大学等と連携して行う新商品開発
② 展示会への出展・国際認証の取得等販路拡大の支援
助成額：最大1,500万円、②100万円(助成率2/3以内)

・いばらきサービス産業新時代対応プログラム
介護、福祉、子育て支援、環境保護、商店街活性化等の課題解決するサービス、インフラ・ITサービス
市場拡大が期待されるサービス
交付のニーズに対応したサービスの事業化に係る取組の支援
助成額：最大300万円(助成率2/3以内)

事例 1

魅力ある物件情報を掲載した不動産HPの作成支援

支援内容
1. 企画・制作
2. 制作・制作
3. 制作・制作

支援対象
1. 不動産会社
2. 不動産会社

支援期間
1. 1ヶ月
2. 1ヶ月

支援金額
1. 10万円
2. 10万円

出席報告 荒井孝典委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メイク	出席率
54名	37名	17名	0名	6名	79. 63%

ニコニコボックス 染谷秀雄委員長 入金計 ￥17,000 累計 ￥1,298,000

本日のお客様福永一哉様、卓話よろしくお申し上げます。 海老原会員
福永様本日宜しくお祈いします。 松崎・山野井・田上 各会員
明けましておめでとうございます。 大塚会員
福永様、本日卓話宜しくお祈い致します。また来週(2/3)の例会は、移動例会ですので、出欠を含めよろしくお祈い致します。 石井会員
インフルエンザ流行しています。お気をつけて。 染谷(秀)会員
例会欠席しました。 倉持・石塚(利)・島田・染谷(正)・草間・武藤 各会員

会報委員会 二本松恭行委員長 亀崎徳彦副委員長 本橋美章委員

移動例会

平成28年2月3日(水) 於:ふじ吉

会長挨拶 海老原良夫会長 2月3日「本当の戦争を知っていますか？」



今月の RI 月間テーマ「平和と戦争予防/紛争解決月間」に沿って本日はマリールイズ様の「本当の戦争を知っていますか？」というテーマでのご講演を拝聴いたします。

これから何う「ルワンダの内戦の話」とは異なりますが、日本は外国と戦争をした歴史があり、第3週例会は会員卓話「第二次世界大戦を経験して」を予定しております

私たちの水海道 RC は戦前、戦中、戦後生まれの会員で構成されており、戦争の実体験のない会員にとって戦争は体験者の話をとおして想像することになりますが、戦時中の残されたモノをとおして当時の世相を窺い知ることはできます。

たとえば今日持参したこれらのモノから私たちはどのような想像を膨らませるでしょう。

<祈武運長久出征幟・帝国陸軍奉公袋・東条英機感謝状・日露戦争戦勝祈念写真>

もちろん「百聞は一見に如かず」の例えの如く、未体験者が、残されたモノから想像する限りにおいては、実際に体験したヒトが見たコトに遠く及ばないことは申すまでもありませんが。

本日は第 3 週の第二次世界大戦を経験した会員卓話に先駆け、「ルワンダの内戦から」というテーマで「本当の戦争を知っている」実体験者のマリールイズ様の貴重なお話に耳を傾けましょう。

そして彼女が今、何をしているか、何故そうしているのかにも理解を示しましょう。



外部卓話 「本当の戦争を知っていますか? ～ルワンダの内戦から～」 ガンベンガ・マリールイズ様



**本当の戦争を知っていますか？
～ルワンダの内戦から～**

NPO法人ルワンダの教育を考える会
理事長 永遠理(トワリ) マリールイズ



世界には6,000万人以上の難民がいる！なぜ？

- 母国に安心して暮らすことができない、違う国にげる。
- ふるさとに暮らすことができない、国内にひなんする。

ルワンダの歴史

- 1889年:ドイツの植民地(第一次大戦後はベルギーの植民地になる)
- 1962年:ベルギーより独立
- 1973年:ハビヤリマナ大統領によるクーデター
- 1990年10月:愛国戦線(RPF)による北部侵攻
- 1993年8月:アルーシャ和平合意
- 1994年4月:ハビヤリマナ大統領暗殺事件発生をきっかけに大虐殺発生(～1994年7月)

ルワンダ内戦

内戦の時、私は子供たちと一緒に首都キガリ市にいました。真っ暗な夜の中で、なすすべもなく何日もおびえて過ごしました。窓から外の様子をまったくうかがうと、そこに見えたのは、いつもの街ではありませんでした。私が見たのは「死んだ街」でした。

紛争によるトラウマ

- 50～100万人ともいわれる犠牲者
- 200万人の難民
- 多くの未亡人・孤児・身寄りのない老人
- 住まいを失う
 - 新たな慣しき
- レイプの被害者(望まぬ妊娠、エイズ感染)
 - 養えない子供を育てる苦しみ

避難生活 ～難民キャンプへ





JICA
JOCV

青年海外協力隊員
との出会いに感謝




ひらがなが起こした奇跡!

AMDA
との出会い!



福島から難民キャンプに届いた手紙



避難生活 さらに遠く ～希望も夢も奪われて 再び日本へ


- 1994年12月28日、福島へたどり着く。
- 平和な場所で安心して生活する。
- 1995年4月 三女誕生。命に感謝。

ルワンダの教育を考える会

- 2000年に福島を拠点に活動を開始
- ウムテヨムーイーザ(良い文化)学園設立


ルワンダの子どもたち
こきました。

「大きくなったら何になり
たい?何をしたい?」



そして夢をあきらめない～給食室

- 子どもたちは、学校で給食を食べて勉強に専念できます。
- 「食育」を実施します。
- 母親たちに職場を提供し、栄養に対する知識を教えます。
- 学校の畑から食材を収穫します。



出張ルワンダカフェ ～避難された方々へルワンダコーヒーを